

2025年10月15日

日本証券アナリスト協会 2025年度「ディスクロージャー優良企業選定」 「建設・住宅・不動産部門」第1位に初選定

株式会社長谷工コーポレーション（本社：東京都港区、代表取締役社長：熊野 聡、以下「当社」）は、公益社団法人日本証券アナリスト協会による、2025年度（第31回）「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」において「建設・住宅・不動産部門」の第1位に選定されました。

「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」は、企業の情報開示の質、量、タイミング等の優劣を判断するための客観的な評価基準を策定して開催する表彰制度で、1995年から毎年実施されています。当社は、17業種（対象企業284社）のうちの「建設・住宅・不動産部門」（対象企業18社）で、下記の理由により第1位を獲得しました。



「ディスクロージャー
2025年度優良企業」ロゴマーク

■ 選定理由（ディスクロージャー優良企業選定報告書より抜粋）

経営陣のIR姿勢等	「経営陣が企業価値や株価への意識を高め、決算説明会やミーティング等において経営方針を十分に説明するなどIRに積極的に関与していること」などが高く評価された。また、経営トップが四半期毎に取材対応をするなど対話の機会が多いとするほか、経営トップに投資家と向き合う意識があるとの声も寄せられた。
説明会等	「四半期情報開示」が満点となったほか、「説明会、インタビューにおける開示」などが高く評価された。
フェア・ディスクロージャー	「経営陣およびIR部門が情報開示に際し、迅速かつ不公平や混乱が生じないよう十分な注意を払っていること」や「決算説明会・電話会議の参加機会、決算説明資料や期中のデータが公平に提供されていること」などが高く評価された。
ESG関連	中期経営計画の説明会など、「中・長期経営計画の進捗状況、達成のための具体的方策、資本政策、株主還元策について、開示資料に記載のうえ十分説明されていること」が高く評価された。
自主的情報開示	ブランシエスタ目黒中央町見学会、マンション市場説明会など、「各種現場見学会や事業説明会等を積極的かつ公平に実施していること」が高く評価された。

公益社団法人日本証券アナリスト協会「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定結果」の詳細については、以下リンク先をご覧ください。

<https://www.saa.or.jp/standards/disclosure/selectiont/index.html>

今回の選定においては、2025年2月に公表した「長谷工グループ中期経営計画（HASEKO Evolution Plan）」（※1）の内容や、その情報発信を契機として、当社の経営陣のIR姿勢、説明会等における開示、自主的情報開示などの点で高い評価をいただいたものと考えております。

こうした取り組みに加え、統合報告書（※2）などを通じた継続的な情報発信も、当社の姿勢をご理解いただく一助となったものと受け止めております。

当社は今後も引き続き、誠実で透明性のある情報開示と積極的な対話に努め、当社の魅力や強みをさらに理解いただくことで株主・投資家ならびに全てのステークホルダーの皆様との信頼関係を構築してまいります。長谷工グループは「住まい」と「暮らし」のリーディングカンパニーとして持続的な成長と企業価値向上を実現してまいります。

【参考】

※1「長谷工グループ中期経営計画（HASEKO Evolution Plan）」

https://www.haseko.co.jp/hc/ir/news/upload_files/20250213_4.pdf

※2「長谷工グループ統合報告書」

https://www.haseko.co.jp/hc/csr/pdf/integrated_report_2025.pdf